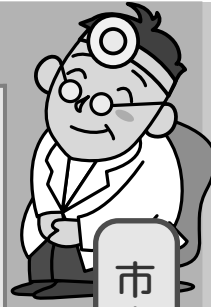


●市立病院外来診療日程●

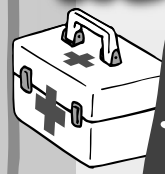
○…午前・午後とも診療 △…午前のみ診療 ×…休診
□…午後のみ診療 ▲…午前第2週の午後診療

内科	整形外科	外科	産婦人科	皮膚科	泌尿器科	耳鼻咽喉科	小児科	眼科	
○	□ 9日のみ 午前・午後	○	休 診	×	△	×	○	○	月
○	△	△		△	△	△	○	×	火
○	▲	△		×	□	×	△	×	水
○	×	△		×	△	×	○	×	木
○	△	△		×	△	△	○	○	金



市立病院の診療日程

医
療



コナー

※初診の方及び診療券(カード)をお忘れの方の受付は8時からです。土曜日、日曜日、祝日は休診です。

午後				午前	
15時00分～16時00分	13時00分～15時00分	13時00分～16時00分	13時00分～15時30分	7時45分～11時00分	7時45分～11時30分
小児科	内科・外科・眼科	泌尿器科	整形外科	整形外科(金)	全科

再
来
受
診
機

平日の受付時間

8月診療日時の変更について

整形外科8月の診療日の追加

8月9日(月)午前 桐田 卓先生

8月18日(水)午前 中島 門太先生

8月19日(木)午前 坂本 直俊先生

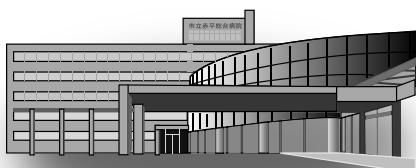
※藤井先生は通常通り診療を行います。

受診時に、お薬手帳をご持参ください!

当院受診時には、お薬手帳を持参してください。医師・薬剤師がお薬手帳の記録をチェックし、薬の飲み合わせや副作用、同じ薬が重複して処方されていないかを防ぐことができます。

市立病院スタッフ募集のお知らせ

- ◆募集職種及び人員 ◆嘱託職員の登録
 - ・薬剤師…1名
 - ・看護師…随時
- ◆当直専従者(臨時職員)
 - ・看護師、准看護師…若干名
- ◆臨時職員の登録
 - ・看護助手、事務補助…随時



問合せ
市立赤平総合病院管理課 ☎32-3211 (内線406)

歯科

29日(日)	22日(日)	15日(日)	8日(日)	1日(日)	8月
赤平ファミリー歯科クリニック(赤平市) ☎32-4884	西尾歯科医院(滝川市) ☎23-4816	しらかば歯科(新十津川町) ☎76-4181	アヒコ歯科医院(滝川市) ☎24-8711	塚本歯科医院(滝川市) ☎23-2508	病・医院名

歯科診療時間 午前9時から正午まで

休
日
診
療

● 営業時間 ●
月曜日から金曜日
午前11時～午後2時
 (祝祭日はお休みです)



市立病院の食堂が閉店し約1年：「経営難の病院を応援しよう」「病院に食堂を復活させよう！」と市のボランティアセンターの呼びかけで、約40名の市民が賛同し、病院職員と共に自らの手で修繕や清掃を行い、今年の5月から開店に向けて準備を進めてきました。

光熱水費は売り上げで賄い、人件費は支払わず全て市民ボランティアで行われています。調理器具等も閉鎖した公民館などから調達したり、個人や団体からご活用ください。

市立病院を受診されている方はもちろん、気軽に立ち寄ってランチやコーヒーだけでも是非ご利用ください。

7月20日に「かあさん食堂ぼらん亭」としてオープン。月曜日から金曜日まで毎日5〜8名のボランティアが交代制で営業しています。リーズナブルなお値段でサンドイッチやコーヒーなどの軽食から、うどん・そば、カレーライスなどのメニューが揃っています。

らの寄贈により賄いました。

かあさん食堂 ぼらん亭

市民の手で 復活しました!

頑張っている先生方のためにも

私たちのマチの病院を守るために



確かな知識で健康生活 **問合せ：市立赤平総合病院管理課 32-3211**

市民健康講座

市立病院では毎年、市民の健康増進、健康保持に向けて「健康講座」を開催しています。今回は札幌医科大学名誉教授・石井清一先生をお迎えし、開催することとなりました。

とき **8月10日(火)18時～19時**

ところ **交流センターみらい 4階かたらいホール**

入 場 無 料

○どなたでもお気軽に参加できます○

『ロコモティブシンドローム』
 ～要介護・寝たきりにならないために～

講師 **札幌医科大学名誉教授 石井 清一 先生**
 Professor emeritus Dr.Seiichi Ishii



略歴

昭和12年 3月31日生れ
 昭和51年11月
 北海道大学
 保健管理センター教授
 昭和58年 7月
 札幌医科大学医学部
 整形外科講座教授
 平成14年 6月
 札幌医科大学
 名誉教授

「ロコモティブシンドローム」とは…

腰痛やひざの痛みなど、体を動かす機能の障害が原因で全身の状態が悪くなり、寝たきりや要介護につながること。

寝たきりの原因として、認知症や脳卒中などとならんで新たに注目されつつあり、腰痛やひざの痛みを個別に治療するだけではなく、バランス感覚や筋力など全身を総合的にとらえた対処が重要とされ、新たな時代の新たな言葉として、日本整形外科学会により、運動器の障害による要介護の状態や要介護リスクの高い状態を表す「ロコモティブシンドローム(locomotive syndrome)」と提唱され、和文は「運動器症候群」とされたものです。